

公共事業再評価調書（農林水産部）

部課室名	漁 港 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 高崎 伸彦 (菅野 晴行)	内線	4172 (4179)
------	-------	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	漁港漁村事業	事業名	事業区間	総事業費
		漁港修築事業	丸山漁港	約33億円

所在地	事業採択年	着工年度	完成予定年	進捗率 H12末
三原郡西淡町丸山	H6年度	H6年度	H15年度	76%

事業の目的	事業内容
当漁港は、鳴門海峡周辺・播磨灘を中心とした沿岸漁業及びワカメ・ノリの海面養殖業を基幹漁業とし、中でも養殖ワカメは県下最大の生産を誇る陸揚流通の拠点漁港であり、本事業により外郭施設、係留施設及び用地等の基本施設整備を行い、漁業活動の円滑化及び安全性の向上を図る。	防波堤 534m 護岸 565m 泊地浚渫 5,500㎡ 物揚場 270m 道路 270m 用地 28,100㎡

進捗状況	平成12年度までに、都市住民との交流等を促進する「ふれあい漁港漁村整備計画」による海の展望広場等の整備を完了し、多目的広場用地についても概成している。 現在は、ワカメ養殖漁場に近い位置にワカメ養殖を主体とした陸揚係留施設と周辺海域の生態系に配慮した自然調和型防波堤の整備を進めている。
------	---

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性	当漁港の主な漁業は陸揚量の約8割を占めるワカメ養殖であり、漁船係留施設のうち、陸揚係留施設の不足が深刻で、ワカメの陸揚係留施設が一本釣りをはじめとする漁船漁業の陸揚係留施設と近接して陸揚げ待ちや、準備係留施設の利用による対応を余儀なくされ、円滑な漁業活動に支障をきたしている。 本計画では、第9次漁港整備長期計画により整備中であるワカメを主体とした陸揚係留施設、防波堤等の整備を図り、また、台風時等の荒天時に港内静穏度を確保すべく港内防波堤の改良等を図り、安全性を確保するとともに、漁港環境施設用地整備を進め、都市住民等との交流拠点漁港として、地域の活性化を図る。
(2)有効性・効率性・有効性	ワカメ養殖場に近い陸揚係留施設等の整備により、陸揚時間の短縮等基幹漁業のワカメ養殖業の効率化や防波堤整備による安全性の向上が図られる。また、漁港環境施設用地の整備により、漁港の交流拠点機能の向上が図られる。 B/Cは1.25である。
(3)環境適合性	防波堤A2は、防波堤の設置位置が海藻類の生育環境（水深、潮流、栄養塩類等）として適地であり、近接する藻場より胞子の供給が見込めることから、捨石（自然石）や藻場造成ブロックを用いた藻場造成機能を付加した構造の自然調和型防波堤としており、周辺海域への環境負荷を最小限にすると共に効果的に自然環境の創造を図る。
(4)優先性	ワカメ養殖漁場への往復は、現在弁天島を迂回する航路をとっているが、旋回時に斜め後方から波を受けることになり、ワカメ満載時等には、漁船操船に危険を伴う。このため、その影響のないワカメを主体とする陸揚係留施設の早期の整備が望まれる。

農林水産部の考え方

再評価の結果	継続	左の理由	上記理由により継続が妥当である。
--------	----	------	------------------